

乙訓歯科医師会から健康教室

Dental Association Otokuni

『子どもたちの学校歯科健診』

乙訓歯科医師会は学校歯科健診で子ども達のお口の中にむし歯や歯肉炎がないか、歯並びや噛み合わせに異常がないかどうかなどの歯科健康診断を行っています。また、養護や担任の先生に対して、歯科医師としてむし歯や歯周病のことについて、どうしたらむし歯や歯周病にならないか、歯みがきの仕方や間食を含めた食習慣など食育について話し合い、専門家として助言指導します。

ところで学校歯科健診では短時間で多くの子ども達の口の中を検査するため、歯並びや、歯肉の状態、大きな虫歯の有無はわかりやすいですが、初期の虫歯を見つけることは至難の業とも言えます。ですからかかりつけの歯医者で詳しく検査してもらおうと「他にも虫歯がありますね」と指摘をうけたり、逆に健診で虫歯として指摘されたけれど、「しっかり与管理、指導することで、再石灰化」を期待でき進行をとめられる可能性があります。このまま治療せずに経過観察しましょう」と言われる場合があります。

歯・口の健康づくりへ 相談や指導で予防図る

ではなぜ学校健診を行うのでしょうか。それは単に病気を見つけるためだけでなく、しっかりと歯みがきをしなくてはいけない子どもや甘いものを控え摂取の仕方に注意しなければいけない子どもたちを見分けるために行っているのです。つまり「スクリーニング」というふるい分け（選別）を行い、治療の必要な子どもは「かかりつけの歯医者」で治療をしてもらうように、また「要観察」の子どもは歯みがき指導を受け甘いものや食事のとり方を教えてもらい、病気になるないように予防するために行っているのです。

学校での健康診断は、子ども達の健康状態を把握し病気や異常の疑いがあるかを選び出すためです。それとともにむし歯や歯肉炎にならないためにはどうするのか、健康であるためにはどんな生活をするのかという勉強をする機会でもあります。実際に一人ひとりの歯の状態にあつたみがか方や食物の食べ方についていろいろ教わることに、子ども達の自分自身で管理する能力を育てることができ、健康に関する教育にとつても重要な役割を果たしていると考えられています。

ともあれ学校健診で受診票を受け取ったら、大切なお子様の成長発育・健康維持のためにもできるだけ早い受診をお勧めいたします。

(乙訓歯科医師会
内藤規晶)